

うむ、これで良いのじゃ♡
これで魔界に送れたぞよ♡

そなたの奉仕により余が宿し♡
余が頑張って産んだ、そなたのガキ♡

もう何匹めかも数えておらぬがの♡
魔王軍の戦力は充実しまくりじゃのう♡

そ、それで。その。

出産直後にも関わらず、転送魔法まで♡
が、頑張って。発動したのじゃからあ♡

ご褒美に、そなたの奉仕♡
必要じゃと、思わぬかえ♡

ほれっ♡そなたと余の大好物うっ♡
授乳奉仕の時間なのじゃっ♡

ンにゅおゝ～ッ♡しゅ、しゅまぬうっ♡

そなたも奉仕、待ちきれなかったのじゃなっ♡

余に座るよう、求めることなくっ♡

立ったまんまで、マゾ乳首がぶがぶっ♡
授乳奉仕いっ♡

余、感動でっ♡
脚ピン背伸びッ♡止まらぬうっ♡

もっと飲んで欲しいのじゃっ♡
お願いっ♡おねがはいっ♡

もっ♡もおゝ～ッ♡
うゝモオゝ～ッ♡

そ、そうそうっ♡余のガキ乳ッ♡

伸ばしたままにいっ♡
ミルクぐびぐび飲みながらあっ♡

キスッ♡キス奉仕もっ♡
して欲しいのじゃっ♡ンッ♡

ちゅっ♡ちゅぱっ♡ごくっ♡ごくっ♡
ン～ッ♡

あゝッ腰ッ♡抜けるっ♡
脚に力っ♡入らぬうっ♡

ガキ乳伸びるう♡

お口とお口っ♡離れちゃうのにいつ♡

のほおっ♡うゝッひいゝィゝ～ンッ♡

授乳奉仕だけっ♡止まらぬうっ♡

やじゃっ♡そなたの忠誠、嬉しいけどっ♡

キス奉仕もお♡余にも自分のミルクっ♡
味わわせるのじゃあっ♡

おゝッ！？おゝッおゝッ♡のッひいゝィゝ～ンッ♡

しゅ、しゅまぬうっ♡
ありっ♡ありがたいのじゃあっ♡

ぷにあなに指引っ掛けて、余のちっちゃな身体♡
支えるだけでなくっ♡

ぐちゅぐちゅ、ほぢほぢっ♡
手マン奉仕までしてくれるなどおッ♡

おゝッイぐッ♡上も下もっ♡

ガキ乳とぷにあなっ♡両方イぐッ♡

最高奉仕でマゾイキ宣言ッ♡
キメるのじゃっ♡

余、幸せいっぱい叫んじゃうッ♡
のっほおゝッ♡

イぐッ♡イぐイぐッ♡
イッくうゝうゝ～ンッ♡

ンぶおゝッ♡そ、そなたの奉仕♡
最高すぎいつ♡

手を離されて、床にへばりつきながらあ♡

身体が勝手に取っちゃうのじゃ♡
魔王当然♡

更なる奉仕を求めるポーズ♡
ガキ乳、土下座あ♡

そしてそなたにこれを見せれば、次はもちろんっ♡

ンもおゝッ♡
ぶうゝッ♡モオゝオゝ～ッ♡

次の奉仕ッ♡

始めてもらえちゃったのじゃあっ♡

足でふみふみっ♡
嬉しがりミルクっ♡びゆるびゆるうっ♡

ありがとうっ♡
ありがとうなのじゃあゝ ～ッ♡

もっと余のガキ乳いっ♡
そなたの得意な、パイ踏み搾乳奉仕でっ♡

もっとぺったんこにしてくりゃれえっ♡
手加減なんぞ要らぬからのっ♡

もおゝ オゝ ～っ♡ブッモオゝ オゝ ～ッ♡

はあ、はああ♡
そ、そなたの奉仕♡

いつもながら、上手過ぎなのじゃあっ♡

出産疲れ、いっぺんにい♡
吹き飛んでももうたぞよ♡

そ、それどころかあっ♡ンッ♡

ほれっ♡休みたくないと言っておるっ♡

余のぶにあなっ♡
そなたの孕ませ奉仕を待ち望んでおるのじゃっ♡

脚はぱっかあっ♡刻印ぴかぴかっ♡

思う存分ハメ潰すが良いッ♡
ささ、はよっ♡はようっ♡

……な、何でちんぽ突っこんでくれぬのじゃあっ♡

余、ちゃんと取ってるもんっ♡
教えてもらった、奉仕受け入れッ♡

種付けプレスポーズ、上手じゃろお～っ♡

ぬうっ！？そ、それ♡
もしやっ♡

あ、新しい魔王の装束かやっ♡
それならそうと、早く言うがよいっ♡

着るのじゃっ♡今すぐにいっ♡
もう余のちっちゃな身体に、穴が開くほどにい♡

じいっくり♡
目の前お着替えを、ガン見奉仕せねば許さぬからのっ♡

ンッ♡キツイのじゃあ♡

これ、余のガキ乳ッ♡
マゾ乳首しか、隠せぬ上にい♡

にゅほお`ッ♡
やっぱり裏地ッ♡ザラザラなのじゃあっ♡

身じろぎするだけで、暴れてはいかぬ♡
とばかりに食い込んでえ♡

マゾ乳首も磨かれて、ミルクを搾られちゃうのじゃッ♡

じゃ、じゃが負けぬうっ♡
布地如きに、こんな牛柄などにつ♡

そなた以外には余、決して負けぬもんっ♡

そ、そしてえ♡これっ♡

ふんどし、と申すのかや？
いかぬぞ、これはとってもいかぬッ♡

余が手ずからめくらぬとお♡
そなたがふにあな、ほちほち奉仕♡

すぐに楽しめぬではないかえっ♡
ま、まあそなたさえ良ければいいのじゃが？

刻印も隠さぬし、まあどうしても言うなら♡
身に着けてしんぜよう♡

ほれ、似合うかの？
えへへ、ピースなのじゃっ♡

によっほお`オ`～ッ♡

頭ッ♡ちゅのっ♡なでなで奉仕ッ♡
しゅきっ♡しゅっきい～っ♡

そなた気に入ってくれたのわかるっ♡
う、嬉しすぎてッ♡

しっぽをブンブン振りつつうっ♡
また、腰ッ♡抜けちゃうのじゃあ～っ♡

あ`ッヒィ`ンッ♡
今度は角ッ♡引っ掴み奉仕いつ♡

カリカリ引っ搔き奉仕までっ！？
し、幸せ過ぎてッ♡

もお`～ッ♡たまらぬっ♡

嬉しがりミルクッ♡
嘔きまくりなのじゃあっ♡

褒美にこれっ♡
余の新しい普段着にしゅるうっ♡

うん、うゝンッ♡足りぬのわかるっ♡
じゃ、じゃからあ♡

なんでも言うのじゃ、そなたのお望みいっ♡

ど、どんな奉仕も♡
大喜びで受け入れてくれようっ♡

……逆？逆とは何じゃ♡

も、もしやあ♡

そなたの言う通り、魔王の癖にい♡

そなたの奉仕無しでは生きられぬ♡
手間の掛かり過ぎる乳ガキ♡

そう成り果ててしまった余にい♡
逆にさせてくれるのかやっ♡

魔王による、奴隷に対する奉仕をっ♡

もちろん返事など決まっておろうがっ♡
んちゅっ♡

こ、このように♡
余のちっちゃな唇では、亀頭に刻んだキスマーク♡

あんまり、目立たぬぐらいであるしっ♡

もちろん手でも、指が周りきらぬぐらいにい♡
立派過ぎる、ち・ん・ぽ♡

コレをいつでも自由に♡
好き勝手に弄んでよいのじゃなっ♡

そなたが余にするように♡
手加減遠慮一切なくっ♡

前言は撤回できぬぞッ♡
良いのじゃな、本当にい♡

あゝッ♡あゝッあゝッ♡

言葉だけではなくっ♡
ちんぽビクビクでもっ♡お返事いっ♡

なんと雄らしい答えなのじゃっ♡
こ、こうしてはおられぬっ♡

早速始めるのじゃっ♡
魔王による、逆奉仕の宴をっ♡

ほれ、さっさと後ろを向いて屈まぬかっ♡
このノロマな奴隷めえっ♡

えへへえ♡どうじゃあッ♡
気持ちいいかのっ♡

いつもは褒美じゃが、こたびは奉仕♡
ならば決して手は抜けぬッ♡

そしてやってみたかったのじゃ♡

そなたが買い込んできた、エロ本？とやら♡
アレに書いておったこれッ♡

余のガキ乳で背後からあ♡
脚をがぁっぱり♡開いてえ♡

ロクに抵抗できぬ、そなたに♡

余の自慢のガキ乳で、ちんぽを包んでっ♡
ずりゅずりゅしまくりっ♡

そ、そしてえ♡んちゅっ♡
れる、れるうんっ♡

ああん、もうっ♡
そなたのケツ穴ッ♡

美味いッ♡甘露ッ♡
極上なのじゃあ〜っ♡

嫌がってはならぬぞ♡
何せこれは、奉仕なのじゃからッ♡

大人しく余に、そなたのケツ穴の味ッ♡
れるっ♡れるっ♡

パイズリながらの徹底堪能ッ♡
させないと駄目じゃぞっ♡

では、するのじゃっ♡
本格的にいッ♡

ンぢゅっ♡んぢゅぢゅうっ♡
ちゅこちゅこっ♡ちゅこおっ♡

ンむお` ~ッ♡
ちゅっ♡ぽおんっ♡

で、でたっ♡
出たのじゃあっ♡

余のミルクもっ♡
そなたのブツ濃いざあめんもっ♡
逆奉仕好きッ♡
だあいちゅきっ♡なのじゃあっ♡

えへへっ♡
ガキ乳も、もっとぎゅ〜っ♡

によっほお` ッ♡
ま、まだまだしたいっ♡

もう止まらぬッ♡
えいっ♡えいえいっ♡

ちゅっ♡ちゅっちゅっ♡

ちゅこちゅこッ♡
ちゅっこおっ♡

んぢゅっ♡んぢゅぢゅうっ♡
ぺろ、ぺろっ♡

ごっきゅんっ♡ン〜ッ♡

はあ、はああっ♡
い、いつもながら最高のじゃあ♡

そなたのざあめん、ぷりっぷり♡
喉に絡んで、くっさい匂いで頭からっぽっ♡

さ、さらにい♡
床の上に這いつくばってえ♡

ブチ撒けられた物を啜らせてもらうのはあ♡
いつも通り、なのじゃがっ♡

余の初めての、逆奉仕の成果と思えばあ♡
もう愛しすぎっ♡

こ、これはあ♡
次の奉仕についても手が抜けぬッ♡

見ておれっ♡今度はこれっ♡
これなのじゃあっ♡

にゅっふっふっふ♡
まさに据え膳♡

いつもなら、すぐさまちんぽ♡
突っ込んでもらったりい♡

餅が如く、びったんびったん♡
天板に叩きつけて搾乳しまくりっ♡

余のガキ乳を、そなたに奉仕♡
してもらうところじゃがっ♡

我慢するのじゃ♡
今は余が奉仕する番じゃからのっ♡

では早速見るがよいっ♡
余の、こたびの奉仕をッ♡ンッ♡

ンッ♡ち、ちがっ♡
勢い弱いっ♡

そなたに搾ってもらえばあ♡
びゅうびゅうびゅるびゅるっ♡

奔流の如く出るのにつ♡
余のちっちゃな手では、搾れぬというのかやっ♡

じゃ、じゃがっ♡
魔王の辞書に、諦めという言葉など。
決して存在せぬのじゃあッ♡

頑張るのじゃ、余のガキ乳ッ♡
かつてそなたがそうしたようにっ♡

でっかい身体をお♡
頭のとっぺんから爪先まで、ミルクまみれ♡

そうしてやらぬと、奉仕なぞと呼べぬじゃろっ♡

思い出すのじゃっ♡
そなたの目の前、ちんぽシゴきいっ♡

ンッピィゝいゝ〜ッ♡
マゾ乳首ッ♡

思いっきり抓ってもッ♡
シゴいても駄目かやっ♡

なんと強情なガキ乳なのじゃっ♡
反省するのじゃっ♡反省ッ♡

にゅおゝオゝ〜ッ♡
魔王の打撃でもっ♡無理にやのおっ！？

しかも余の手形ッ♡ちっちゃすぎっ♡
そなたのおっきい手とは比べ物にならぬっ♡
そ、そなたのつま先もロクに♡
濡らせぬう♡

ひん、ひいんっ♡
余、魔王の癖にッ♡

噴乳奉仕すら、ちっともできぬっ♡
情けないッ♡

しょ、しょうがないのお♡
ギブアップなのじゃっ♡

手伝いを許す故、余のガキ乳を素直にさせよっ♡

ほれ、膝に寝転がるがよいっ♡
ぼうっとせずに、早くするのじゃっ♡

のおゝッ♡ヒィゝィゝ〜ンッ♡

や、やはりいっ♡
そなたじゃないと、ミルクが出せぬッ♡

量が違うのじゃ、量がっ♡
で、ではそのまま♡

余のマゾ乳首を咥えてミルクを啜りつつ♡
味わうがよい、余の本気ッ♡

えへっ♡余一人では奉仕が敵わずとも♡
手伝ってもらえば出来るのじゃっ♡

授乳手コキ、じゃったかの♡
これにも余は、憧れておったのじゃ♡

ほれ、啜って感想ッ♡
鼻から歓喜のミルクを噴くが良いッ♡

そうしたら、余♡
気を良くしてえ♡

もっと必死コイで、奉仕を頑張っちゃうからのっ♡

ンお`ッ♡ひい`い`~ッ♡

ち、ちがっ♡しょちがっ♡

ミルクも飲まずにっ♡
ぶにあなっ♡ほちほちいっ♡

しょんなの手コキッ♡
続けられるわけなかるっ♡

お`ッ♡お`ッお`ッ♡
奉仕らめっ♡

ほちるの禁止ッ♡
禁止にやのお`~ッ♡

イグッ♡イグイグッ♡
イッぐう`~ッ♡

はへえッ♡はっへえっ♡

ひゃ、ひゃいい♡
余、ズルしようとしちゃったのじゃあ♡

考えてみれば、当たり前じゃったあ♡

奉仕の際は、いつもそなたがするように♡

手伝いどころかっ♡
抵抗すら許さぬように、せねばダメ♡

余、理解したぞよ♡
そ、そしてえ♡

二度と忘れぬように、そなたの本気ほちほちでっ♡

徹底的に、叩き込んで欲しいのじゃっ♡
本物の奉仕をッ♡

ンおゝ ャ♡しゅごっ♡
反省の念ッ♡

ぶっとい指でえっ♡ぷにあなに直接ッ♡
叩きこまれてイグッ♡

イきまくっちゃうのじゃっ♡
のっじゃあゝアゝ ～ッ♡

おゝ ャ♡またイグッ♡

もう何回もイかされておるのにつ♡
のほおゝ ャ♡

一番おっきいの来るッ♡
来ちゃうのじゃっ♡

あゝ ～ッ♡あゝ ～ッ♡

指ッ♡しゅごいつ♡

しゅごしゅぎっ♡
おゝ ャおゝ ャ♡

あゝ アゝ ャ♡
ヒィゝ イゝ ～ンッ♡

モオゝ オゝ ～ッ♡あゝ ャイグッ♡

余韻でミルクもおしっこもッ♡
漏らしながらイきまくりゅうゝ ～ッ♡

ほおゝ オゝ ～ッ♡
のおゝ ャ♡ひいゝ ャ♡

き、キメちゃったのじゃあ♡
仰け反って、ミルクびゅうびゅう噴き散らかしっ♡

180度、開脚おもらし♡
そなたに本気奉仕をしてもらうと、すぐコレじゃっ♡

喜びに、ガキ乳どころかあ♡
膀胱まで、ユルんでしまうのじゃあ♡

じゃが、わかったのじゃ♡
余は、奉仕を甘く見ておった♡

こ、このぐらい♡
そなたを悦ばせないと駄目ッ♡

油断も慢心も、ミルクとおしっこと一緒にい♡

余さず搾り出されてしもうたゆえっ♡
もはや余の辞書には全力♡

その言葉しか存在せぬっ♡
さあ、再度寝転がるが良いッ♡

今度こそ、余の魔王らしいッ♡
完璧なるチンハメ奉仕をっ♡

そなたにたあつぷりと、堪能させてやるからのっ♡

……うむ♡相変わらず、凄まじい肉の塔♡
否、普段よりも♡

余の情けない魔王失格奉仕に♡
大層イラついておるっ♡

ま、まずはこの雌をブチ殺す姿をしたッ♡
ち、ちんぽをお♡

そおっと、ぷにあなで啜えてえ♡

ンお`ッ♡ヒョオ`オ`~ッ♡

ちんぽっ♡デカ過ぎりゅう`ッ♡

腰ッ♡
やっぱりまた、抜けちゃうのじゃあ`~ッ♡

もお`ッ♡ヒイ`イ`~ンッ♡

余のぷにあなっ♡弱すぎりゅう`ッ♡

ブッ挿さってアクメ止まらぬッ♡
止まらないのっほお`~ッ♡

お`ッお`ッア`ヒッ♡

イぐッ♡イツぎゅう`う`ッ♡

又お`ッ♡ひい`い`ッ♡

が、がっかりした顔♡
するで、なひい♡

余のここっ♡
そなたのでっかいので、ボッココンしたあ♡

おなかつ♡
刻印に注目、するのじゃあっ♡

にゅふッ♡どうじゃっ♡
どうなのじゃあっ♡

ちゃんとチンハメ奉仕ッ♡
出来ておるじゃろお〜っ♡

秘訣はココッ♡
刻印に、新たな機能を追加したのじゃっ♡

えへえへっ♡
どうじゃ、偉いじゃろっ♡

ぴいすっ♡
そなたのちんぽっ♡

ずぼずぼしながら、ぴいすなのじゃっ♡
……む？どうしたのじゃ？
不満そうな顔じゃのう？

そ、それにこれっ♡
余も全然気持ちよくないっ♡

そなたに奉仕、してるのにいつ♡

悦び全くありはせぬっ♡
こ、こんなはずではっ♡

何を考えとったんじゃ、お馬鹿な余よっ♡

そ、そなたは魔王たる余がっ♡
無様に喘ぐところがだあいすき♡

ミルクびゅうびゅう噴き散らかしつっ♡
休むことなく、マゾアクメえっ♡

それが本当の奉仕じゃというのにっ♡
勘違いしておったあっ♡

あゝッ♡感覚ないのにっ♡
そなたのお怒りッ♡伝わるうっ♡

ちんぽムカつき過ぎなのじゃっ♡
す、すぐに刻印書き換えぬとっ♡

感覚遮断は解除っ♡
いいや、その程度では許されぬッ♡

せめてもの詫びとして、感度は倍増ッ♡

さらにぷにあな、よわよわにしつつ♡

チンコキ奉仕もお♡
余の意志では、決して止まらぬようにっ♡

そ、そなたが最高に気持ちよおく♡
ざあめんびゅうびゅうしてえっ♡

孕ませ完了まで、余を決して許さぬようにっ♡
そう、するゆえっ♡

どうか、楽しんでくりやれえっ♡
で。では。

ふ〜っ♡ふ〜っ♡
か、書き換え。

発動、なのじゃあっ♡

のオ` ツ♡ヒヨオ` オ` ~ツ♡

いかぬっ♡
これっ♡いかぬっ♡

のじゃっ♡
のっじゃア` ア` ~ツ♡

おにやかッ♡
自分でブン殴りっぱなしっ♡

刻印らめっ♡
しょ、少々微調整ッ♡

お` ツお` ツ！？お` ~ツ♡

む、無理ィ` ツヒィ` ~ツ♡

刻印ッ♡
そなたのちんぽでボッコボコオッ♡
これではうまく書き換え出来ぬうっ♡

形ッ♡
歪みっぱなしにやのお` ~ツ♡

お` ヒあ` ヒッ♡
う` う` ツ♡ヒィ` い` ~ンツ♡

でもっ♡そなたのちんぽっ♡
喜んでおるっ♡

う、嬉しィぐッ♡
イッてりゅう` ~ツ♡

ちぬっ♡余のおにやかっ♡
こわれりゅう` ツ♡

は、早くざあめんッ♡
出してほしッ♡のっじゃア` ツ♡

ち、違ッ♡もっと早くじゃっ♡
なっヒィ` イ` ~ツ♡

余の身体ッ♡止まってッ♡
止まっへえ` ~ツ♡

のオ` ツ！？
ほお` ツ♡ほあ` ツ♡

ほあ` ア` ~ツ♡あぢゅいつ♡
ざあめんあぢゅいのじゃあっ♡

ぷっちゅんしとるっ♡

つまりい♡

チャンスなのじゃっ♡

刻印書き換えッ♡
奉仕ストップうっ♡

モオ` ~ッ♡
ふひっ♡あ、安心したらあ♡

マゾ乳首まで、ユルんじやったのじゃあ♡

安心ミルク、逞しい胸板で搾るの心地よい♡

そ、そしてすまぬう♡
余は、わかったつもりだったのにい♡

まだまだ奉仕の過酷さ♡
全然理解してなかったのじゃあ♡

唯一わかったのは、そなたの偉大さだけ♡

余なぞにはもったいない、最高の奴隷なのじゃあ♡

余、魔王なのに奉仕無理♡

そなたの奉仕、受け入れることしかできぬ♡

今度こそ、心から諦めて降参するのじゃ♡

ちゅっ♡ちゅっちゅっ♡

ンもお` ~ッ♡
な、なんと優しい奴隷なのじゃあ♡

こんな駄目駄目魔王な、余にい♡
ちゅっ♡

真心籠った、パイ飲みキス奉仕♡
してくれるなどお♡

れる♡れるっ♡
もう堪らぬッ♡

こんな大変なことを♡
いつも大喜びでしてくれる、そなたにい♡

たくさん褒美♡ちゅっ♡
与えまくらねば気が済まぬう♡

な、なあんでも♡好きに申すがよいッ♡
ちゅっちゅっ♡

魔王を辞めろと言っても構わぬッ♡

そなたの奉仕には、それだけの価値があるのじゃっ♡

ほ、奉仕さえしてもらえれば♡

余が逆に、奴隷になれと言われてもお♡

そ、そなたのちんぼの遊び道具♡

オモチャになれと、命じられてもお♡

大喜びで受け入れるぞよ♡
ちゅっ♡はむ♡はむ♡

ンッひいゝ いゝ ～ッ♡
もおゝッ♡もおゝオゝッ♡

そ、そなたったら無欲すぎいつ♡

褒美は、余のミルクだけでよいなどっ♡

さらにはもっと奉仕したい？

余のヘタクソ奉仕も、たまに楽しんでもくれるとなっ♡

もう、ちゅきっ♡
だいちゅきいつ♡

最高を超えた、究極の奴隷なのじゃっ♡
ちゅっちゅっ♡

でもやはり、それでは余の気が済まぬからあ♡
与えちゃうのじゃ♡
刻印の改変内容を、決める権利いッ♡

余の身体ぜんぶ♡
そなたが好きに弄んでよいつ♡

奉仕しやすくご自由カスタマイズッ♡
しまくるのじゃっ♡

そのぐらいが妥当じゃろ♡
ほれ、早く申すがよいつ♡

うむ、うむうむ♡
か、感度をさらに♡
先ほどの倍以上に♡

もちろんよいぞ♡
まだまだ足りぬ♡

が、ガキの数も増やすうっ！？
それも余にはメリットしか無いぞよ♡

ミルクの量も増やすとな？
うむ、そういうので良いのじゃ♡

余のガキ乳は、そなたにい♡
褒美のミルクを搾ってもらうため♡

そして美味しく飲んで頂くためにい♡
存在するのじゃからのっ♡

では、改変するのじゃっ♡えいつ♡

のオゝッ♡ブモオゝ ～ッ♡

ち、ちんぽっ♡

しゅごっ♡しゅごいっひいゝいゝ～ッ♡

啞え込んでいるだけでっ♡
余の身体ッ♡マゾアクメしっぱなしっ♡

ミルクも嘔くッ♡
おゝッ！？タマゴもでりゅっ♡
でりゅうゝ～ッ♡

こ、こんな状態でっ♡
そなたに奉仕されてしまったらあっ♡

楽しみすぎてっ♡
たまらぬっ♡

早く奉仕ッ♡
どちゅどちゅ奉仕っ♡

手、手なぞ抜いたらあ♡
おゝッ♡

ぜ、ぜえったいにっ♡
許さぬのじゃからのっ♡

にゅうゝッ！？ほおゝおゝ～ッ♡

ご、ごめっ♡
ごめんなさいなのじゃあっ♡

余、また甘く見ちゃったっ♡
そなたの本気っ♡

きちゅっ♡
気持ち良すぎてきちゅいのおゝ～ッ♡

ちょっ♡まっ♡ちと、刻印ッ♡
少し感度を、下げにやいとおっ♡

おゝ～ッ♡おゝ～ッ♡
邪魔らめっ♡禁止っ♡

ごめんなしゃっ♡
ごめんなしゃっ♡そなたあっ♡

おゝッおゝッ♡大人しくっ♡

受け入れねばならぬっ♡
でっかいちんぽおっ♡

あゝヒィゝッ♡
れもっ♡の～みそなくなゝゝッ♡

子宮っ♡つぶれゝゝッ♡

そなたが余のおしりっ♡
搦んでごっちゅんごっちゅんっ♡

してくれるたびにイグッ♡
無限にっ♡

イきまくっとりっ♡
のっほお`オ`ッ♡

あ`ッちんぽっ♡
ビクビクッ♡しとりっ♡

出して欲しいのじゃあっ♡

そなたの本気のッ♡
ぷりぷりぎあめんっ♡

のほお`ッ♡ふにゆお`ッ♡
にゆお`ひい`い`~ッ♡

でう`ッ♡余の感謝の気持ちっ♡
でまくりゅう`ッ♡

そなたのぎあめんと一緒にッ♡
ミルクもタマゴもっ♡

止まらぬッ♡
止まらにやいのお`~ッ♡

あ`ッぷちゅんっ♡
ぷちゅう`う`ンッ♡

た、タマゴがあ♡
ぷりゅん♡してすぐぷちゅんっ♡

刻印の力でわかるのじゃっ♡
余、孕みまくっておりゆのお`ッ♡

お`ッ♡子宮ぐりぐり奉仕いっ♡
らめっ♡らっめえっ♡

余の身体あっ♡お礼のタマゴッ♡

もっといっぱいっ♡そなたのちんぽにい♡

差し出すっ♡
さらにぷりゅぷりゅしまくっちゃう`う`~ッ♡

のじゃっ♡のっじゃあ`ア`~ッ♡

お`ほお`ッ♡お`ッう`オ`ッ♡

そ、そなたあっ♡
どちゅどちゅ奉仕らめっ♡

もう十分ッ♡
余、孕みすぎちゃうのっほお`ッ♡

おにやか壊れう`ッ♡
そなたの奉仕の成果、既に詰まり過ぎてるのにいっ♡

あ`ひい`ンッ♡わ、わかつ♡
わかったのじゃあっ♡

孕ませ奉仕、しまくってもらってえっ♡

お礼に沢山っ♡
ガキ産み奉仕いっ♡

魔王軍、余とそなたのガキまみれにすりゅのおゝ～ッ♡

決意のみりゅくっ♡
でうっ♡タマゴもっ♡
でうゝうゝッ♡

もおゝ～ッ♡イグッ♡

ひゃいっ♡ひゃあゝあゝ イッ♡

余は、余はあっ♡

そなたに奉仕されるのもっ♡
自ら奉仕するのもおっ♡

ちゅきっ♡だいちゅきいゝ～っ♡
んちゅっ♡

ンにゅおゝ～ッ♡
しゅごいっ♡そなたしゅごいゝいゝッ♡

うむっ♡
余、もっと奉仕によわよわになりゅうゝっ♡

奉仕で魔王ッ♡
退治されっぱなしなのじゃあゝ～っ♡

んちゅっ♡ちゅっちゅっ♡